

# 越境・跨境を試みるためには、フィールドワークが もっともいい機会を提供してくれる



## 人のふり見て我がふり直せ： 越境・跨境するためには「境界」が必要

---

対象とする「地域」についても、また、身につけるディシプリンについても、ある種の「境界」で区切られた領域が設定され、そこに身をおかないことには、越境・跨境 자체がなりたたない。

→ 地域研究に参入する人は、対象地域、研究分野に関して、ある程度の(一定の?)境界と領域を設定した自己確立が必要となる。

# 人のふり見て我がふり直せ： 越境・跨境するためには「境界」が必要

---

越境・跨境を促す仕組みを地域研究はどれだけ提供できるのか。

「人のふり」を見ない地域研究(者)をつくるような方向へ地域研究が細分化することは、地域研究の活力と可能性を削いでいくのではないか。

境界を意識しながらも、越境・跨境に寛容な学問的雰囲気の醸成やアリーナの提供をおこたらない地域研究のメッカが、1研究科、1研究所、2研究センターを備えたこの川端の地に続くことを期待しています。

# ご静聴ありがとうございました

---

